

りそな外為レポート

りそな WEEKLY COLUMN

りそな外為レポート

ドルの倍返しとなるか (P2)

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 田中 春菜

今週のドル円予想レンジ **104.50 ~ 106.50**

りそなWEEKLY COLUMN

2020年の「海外の流行語」、ご存じですか？ (P3)

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 伊藤 一輝

- 海外でも世相を反映した「流行語」を決める習慣がある
- 英国・米国・中国・南アフリカの流行語の中から一部を紹介
- 2021年の流行語が脱・コロナ関連となることを願う

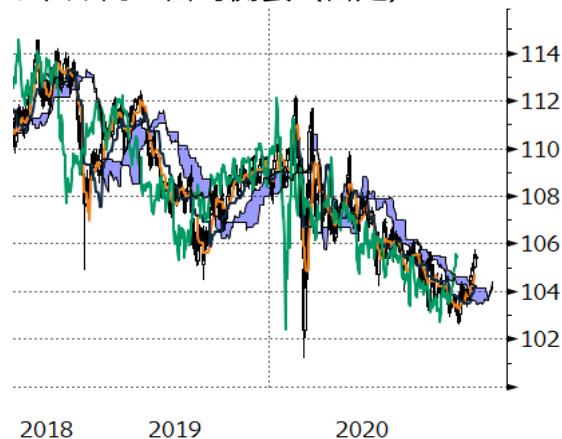
りそな外為レポート

ドルの倍返しとなるか

今週のドル円予想レンジ **104.50 ~ 106.50**

(りそな銀行市場トレーディング室予想 発行当日の10時時点)

◆ドル円一目均衡表（日足）



◆為替相場のすすめ

2020年から続いていたドル安一辺倒の相場から少しずつ変化が出てきた。先週のドル円は週末にかけてドル高円安が進み、一時105円76銭まで上昇。市場参加者が注目していた200日移動平均の105円58銭を上抜けた他、一目均衡表（日足）は三役好転となるなど、強い買いシグナルが確認できた。

今週のドル円は高値圏でもみ合いを予想する。テクニカル的にはドル買い優勢であるものの、米国の金融政策に変更はなく、前回の米FOMC後のパウエル議長の会見でも、金融緩和の出口を意識するには時期尚早と発言をしており、コロナ終息や米財政出動期待に伴う市場のテーパリング観測を否定するものであった。ドル円の材料は強弱まちまちである事から、更に上値を伸ばすにはもうひと押し材料が欲しいところである。足元ではバイデン米大統領が掲げている約1.9兆ドルの大規模経済対策の行方が鍵となろう。共和党との対話を重視し成立に時間を取られるか、財政調整法を元に早期の成立を目指すのかその手腕に注目が集まる。

(カスタマーディーラー 田中春菜)

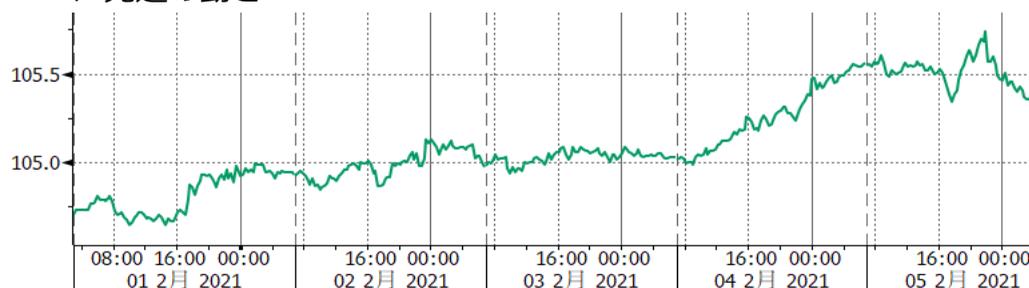
◆ 今週の日程

8日(月) 日	12月国際収支	10日(水) 米	10年債入札
8日(月) 日	1月景気ウォッチャー調査	11日(木) 日	建国記念の日
10日(水) 中	1月CPI・PPI	11日(木) 米	30年債入札
10日(水) 米	1月CPI	11日(木) 中	旧正月休暇～17日
10日(水) 米	パウエルFRB議長講演	12日(金) 米	2月ミシガン大消費者信頼感指数

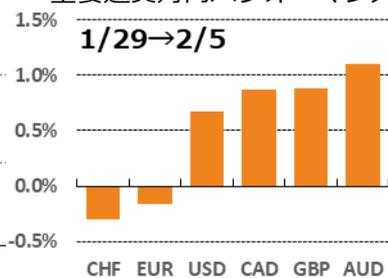
◆ 今週の予想 (ドル高 強い ↑ 普通 ↑ ドル安 強い ↓ 普通 ↓) NY引け値 2月5日(金) 105.39円 VS 2月12日(金)

東京										大阪			埼玉			
井口	中根	石川	湊	小新	田中	中里	伊藤	村永	小林	鈴木	武富	上野	小林	津田	石井	佐藤
↓	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↓	↑	休	↓	↓	↓	↓	↑	↑	↑

◆ 先週の動き



主要通貨対円パフォーマンス



出所：Bloomberg

◎注意事項
お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

2021/2/8

りそな WEEKLY COLUMN

2020年の「海外の流行語」、ご存じですか？

- 海外でも世相を反映した「流行語」を決める習慣がある
- 英国・米国・中国・南アフリカの流行語の中から一部を紹介
- 2021年の流行語が脱・コロナ関連となることを願う

りそな銀行 市場トレーディング室
カスタマーディーラー 伊藤 一輝

2020年海外の流行語は？

3密、アマビエ、アベノマスク、オンライン○○といえば、2020年の流行語大賞のベスト10の一部。あつ森や鬼滅の刃など巣ごもり需要に乗ってブームとなったコンテンツも含めれば、新型コロナウイルスに関連する語句が大半となりました。

海外にも日本同様、その年の流行語を選ぶ習慣があります。その中から英国、米国、中国、南アフリカで流行した言葉について、三択クイズ形式で取り上げてみようと思います。

Q1. 英オックスフォード出版局では、「Word of the Year」(今年の一語)を毎年発表している。2020年起こった「前例のない事態」は次のうちどれか？

- ① 選出した「今年の一語」を取り消した。
- ② 発表が翌年に順延された。
- ③ 一語に決めることができなかった。

正解は、③「一語に決めることが出来なかった」。lockdown(都市封鎖)やpandemic(世界的大流行)など、コロナ関連の言葉を中心に50語弱が選ばれました。

Q2. 辞典の編纂を行う米メリアム=ウェブスター社も毎年「Word of the Year」を選んでいる。2020年の同社HPでの検索件数の上位ランキングに含まれていた「malarkey」(馬鹿げている)は、誰の口癖か？

- ① バイデン大統領
- ② ハリス副大統領
- ③ トランプ前大統領



りそな WEEKLY COLUMN



正解は、①バイデン大統領。10月の大統領選第二回討論会で共和党トランプ氏の政策を批判する際に使用されました。米国人にとっても馴染みのない言葉だったようです。

Q3.コロナ禍の中国で流行した言葉「逆行者」の意味に近いものはどれか？

- ① 医療に従事している人
- ② ルールを守らない人
- ③ 高齢者に優しい人

正解は①。ウイルスの流行に対し勇敢に立ち向かう人たちを意味し、中国では、新型コロナとの戦いを題材としたドラマが放映され、話題となりました。

Q4.南アフリカ言語委員会の2020年の"Word of the Year"(今年の一語)候補のひとつに挙げられた、"Jerusalema"とは、何か？

- ① 若者に人気のグルメ
- ② ヒット楽曲のタイトル
- ③ 新たな経済政策の名称

正解は②ヒット楽曲のタイトル。楽曲に合わせて踊り、動画を投稿する動きが盛んになりました。歌詞は南アフリカ共和国の公用語のひとつ、ズールー語で書かれています。ちなみに、映画・舞台のライオンキングのテーマ曲として馴染みの『Circle of life』の冒頭歌詞もズールー語です。

2020年はやはり海外でも新型コロナや巣ごもりに関連するワードが選ばれる年でした。2021年の流行語は脱・コロナ関連の言葉であふれる事を願っています。

